

## 大原社会問題研究所五十年史

## Ⅴ 戦後

## 戦時版年鑑の編集

この年五月二二日、研究員会は、資料集収などかねて準備してきた『日本労働年鑑』戦時特集版の編集執筆にかかるとを決定した。一九四一年、それまで毎年つづいて刊行されてきた年鑑が、戦時下の政治的重圧によってやむなく停刊し、事実上戦時中の労働者農民の状態、社会運動の推移に関する記録は空白になっていたのであるが、この空白を埋めるための年鑑の刊行は研究所の懸案の一つであった。

前記の研究員会およびその後の会議で編集プランや執筆担当などが討議され、結局、一九四〇年より四五年にいたる戦争中の労働問題を上下二巻にわけ、第一部を労働者・農民の状態と政府の労働対策その他の政策、第二部を労働運動、農民運動、反戦運動、文化運動等の記述に当てることにした(この第一部『太平洋戦争下の労働者状態』は一九六四年一〇月東洋経済新報社より、第二部『太平洋戦争下の労働運動』は六五年一〇月労働旬報社よりそれぞれ刊行された)。

法政大学大原社会問題研究所五十年史

発行 1970年11月

編・発行法政大学大原社会問題研究所

---

[前のページ](#)← 法政大学大原社会問題研究所五十年史【目次】 →[次のページ](#)

---

[研究活動・刊行物](#) [OISR.ORG全文検索](#)

---

[法政大学大原社会問題研究所\(http://oisr.org\)](http://oisr.org)

---